

施策10

健康でスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

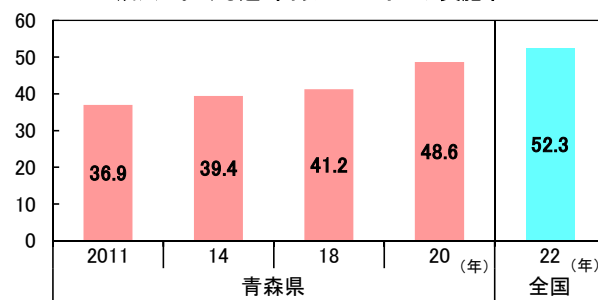
県民が年間を通じてスポーツに取り組める環境を充実させるほか、全国大会などで活躍できる選手や指導者を育成し、県民の健康づくりやスポーツによる地域活性化を進めます。

■2022(令和4)年度の取組・成果

- スポーツを通じた健康づくりを推進するため、地域スポーツの担い手となる総合型地域スポーツクラブと連携し、高齢者を対象とした健康教室や、働き盛り世代及び子育て世代を対象とした健康増進プログラムを実施するなど、本県及び地域の健康課題を踏まえた運動・スポーツ活動に取り組みました。
- 県民の生涯を通じたスポーツ活動を充実させるため、青森県民スポーツ・レクリエーション祭を県内各地で開催しました。また、総合型地域スポーツクラブについては、未設置の町村に対する相談支援などを行いました。現在、設立済クラブ数は42クラブとなっています。
- 令和8年本県で開催される、第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）及び第25回全国障害者スポーツ大会に向けて、競技力向上を図るため、国内トップレベルの指導者の招へいによる指導者の養成及び資質向上、ジュニア選手の発掘・育成、選手強化事業への支援などに取り組みました。

■施策の現状を表す指標の動向等

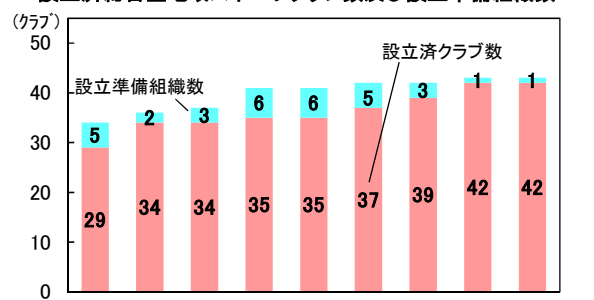
成人における週1回以上のスポーツ実施率



資料:教育庁「県民の健康・スポーツに関する意識調査」
スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

成人における週1回以上のスポーツ実施率は、上昇傾向にあります。

設立済総合型地域スポーツクラブ数及び設立準備組織数



資料:教育庁

設立済クラブ数は増加しており、前年度と同じ42クラブになっています。

■主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>地域の健康課題及び住民等のニーズを把握するとともに、市町村行政や体育（スポーツ）協会等との連携などを図り、運動・スポーツ活動に取り組む必要があります。</p>	<p>地域スポーツの担い手となる総合型地域スポーツクラブが市町村や体育（スポーツ）協会等と連携し、本県及び地域の健康課題を踏まえた運動・スポーツ活動の実施に取り組むことで、スポーツに親しむ環境の充実と地域住民の運動習慣の定着を図り、県内全域のスポーツを通じた健康づくりを推進します。</p>
<p>地域によっては総合型地域スポーツクラブに対する理解が不十分であること、人材及び指導者等の確保ができず、設立が進んでいないことから、未設置町村におけるクラブ設立を促す必要があります。</p>	<p>未設置町村に対して、研修会等を開催し、他の既存クラブの実例等の紹介や情報交換の場を設けるとともに、地域の実情に合ったクラブ運営の方法等について助言を行うなど、クラブ設立に向けた支援を行います。</p>
<p>令和8年に開催される第80回国民スポーツ大会に向けては、全体的な競技力の底上げと、大会開催を契機とした県民のスポーツ意欲向上につなげるための取組が必要です。</p>	<p>本県代表として活躍が期待できる選手の育成・強化や有力選手の県内定着を図るなど、総合的かつ戦略的に競技力向上に取り組むほか、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の観点からスポーツ人口の拡大に向けた取組を推進します。</p>

(参考) 2022(令和4)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 競技力向上事業費補助【スポーツ健康課】 98,090千円

<p>取組状況</p>	<p>本県の競技力向上を図るため、各競技団体、関係団体が行う強化事業（総合選手強化事業、中学生強化事業、高校生強化事業）に対して補助金を交付し、中体連・高体連、競技団体の連携強化、一貫した指導体制の構築を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合選手強化事業補助対象者数 40団体、延べ3,973人 ・中学生強化事業補助対象者数 23団体、延べ1,282人 ・高校生強化事業補助対象者数 50団体、延べ1,460人
-------------	--

2 スポーツ・レクリエーション振興事業【スポーツ健康課】 7,539千円

取組状況	<p>県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の実践を図り、健康で活力ある生活に資することを目的に、第15回青森県民スポーツ・レクリエーション祭を県内7市5町1村で開催した（35種目、参加者数4,132人）。</p>
------	--

3 「スポーツでみんなを元気に」健康力アップ事業【スポーツ健康課】 3,096千円

取組状況	<p>健康課題についての共通理解を図るため、県内全ての総合型地域スポーツクラブを対象にワークショップを2月に開催した。</p> <p>モデルクラブ（6クラブ）において、健康課題等を踏まえた取組内容や関係団体等との連携方法などに関する検討を実施し、検討内容等に基づき、成人や高齢者を対象とした運動などの活動を実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討協議会開催回数 延べ11回 ・実践回数 延べ82回
------	--

4 広域スポーツセンター運営事業【スポーツ健康課】 1,955千円

取組状況	<p>県民のスポーツに取り組む環境の充実を図るため、スポーツやレクリエーションを通じた世代間交流の場となり、地域の教育力を高め、地域を活性化することが期待できる総合型地域スポーツクラブの設立・運営の支援及び啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立済総合型地域スポーツクラブ 42クラブ
------	---

5 スポーツ科学チームサポート事業【スポーツ健康課】 4,902千円

取組状況	<p>第80回国民スポーツ大会の本県開催を見据え、活躍が期待できる県内の強豪チームに対して、スポーツ科学的側面から支援を行うことを目的として、青森県スポーツ科学センターのスポーツ科学専門員による通年の計画的サポートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定分野 6チーム ・動作分析分野 6チーム ・リコンディショニング分野 6チーム ・心理サポート分野 6チーム
------	--

6 スポーツ科学センター環境充実事業【スポーツ健康課】 32,010千円

取組状況	<p>「スポーツ科学チームサポート事業」を活用した選手強化事業の円滑な実施に向け、青森県スポーツ科学センターにスポーツ科学専門員4人及びスポーツアシスタント2人を引き続き配置した。</p>
------	--

7 競技力向上対策本部運営費【スポーツ健康課】 7,670千円

取組状況	第80回国民スポーツ大会の本県開催を見据えた競技力向上に向けて、総合的・戦略的な選手強化策等を検討するため、本部委員会、強化対策委員会、専門委員会等の各種会議の運営や、各種大会等の視察を行った。
------	---

8 競技力向上対策特別事業【スポーツ健康課】 143,881千円

取組状況	<p>第80回国民スポーツ大会の本県開催を見据え、「青森県競技力向上基本計画」に基づき、以下の事業等競技力向上対策を多角的に実施した。</p> <p>①スーパーバイザー配置事業（25競技、34人） 全国的に優秀な指導者及び審判員等（スーパーバイザー）を招へいし、各競技団体の組織強化、指導体制の充実を図った。</p> <p>②あおもりスポーツアカデミー事業 発掘プログラムとして、県内3会場で選考会を実施し、小・中学生合わせて175人を選考した。また、育成プログラムとして、スポーツ医・科学を活用した講義・トレーニング（年5回）や、他競技種目の体験等（3種目）を実施した。</p> <p>③強化拠点校（クラブ）活動支援事業（ジュニアクラブ12チーム、中学校10チーム、高校65チーム、大学等24チーム） 育成・強化の拠点となることが期待できる高校運動部等を指定し、その強化活動を支援した。</p> <p>④強化指定選手活動支援事業（31団体、228人） 各競技において優秀な成績を収め、国民スポーツ大会での活躍が期待される選手を対象に、強化活動を支援した。</p> <p>⑤選手・指導者の雇用環境充実支援事業 トップアスリートや指導者の確保を目的とした無料職業紹介所「ジョブスポあおもり」を設置し、協力企業を開拓した。</p>
------	---

9 楽しさアップ!子どもの健康づくり事業【スポーツ健康課】 1,424千円（施策2に掲載）

10 体力向上推進事業【スポーツ健康課】 323千円（施策2に掲載）

11 地域部活動推進事業【スポーツ健康課】 318千円（施策4に掲載）